

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第1区分

【発行日】平成19年11月22日(2007.11.22)

【公表番号】特表2007-517498(P2007-517498A)

【公表日】平成19年7月5日(2007.7.5)

【年通号数】公開・登録公報2007-025

【出願番号】特願2006-531018(P2006-531018)

【国際特許分類】

C 1 2 N 15/09 (2006.01)

A 6 1 K 45/00 (2006.01)

A 6 1 K 48/00 (2006.01)

A 6 1 K 31/7088 (2006.01)

A 6 1 P 25/28 (2006.01)

A 6 1 P 25/00 (2006.01)

【F I】

C 1 2 N 15/00 Z N A A

A 6 1 K 45/00

A 6 1 K 48/00

A 6 1 K 31/7088

A 6 1 P 25/28

A 6 1 P 25/00 1 0 1

【手続補正書】

【提出日】平成19年10月5日(2007.10.5)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

神経変性疾患の治療のための医薬の調製における、BMP2Aインヒビターの使用。

【請求項2】

請求項1に記載の使用であって、前記BMP2Aインヒビターがアンチセンスオリゴヌクレオチドである使用。

【請求項3】

請求項2に記載の使用であって、前記アンチセンスオリゴヌクレオチドが5'から3'に配列番号46~66に記載された配列を有している連続的なヌクレオチド又はそのホモログを具備するオリゴヌクレオチドである使用。

【請求項4】

請求項1に記載の使用であって、前記BMP2AインヒビターがBMP2A siRNAである使用。

【請求項5】

請求項4に記載の使用であって、前記siRNAは、1鎖が5'から3'に配列番号3~24に記載された配列を有している連続的なヌクレオチド又は各端領域で前記ヌクレオチドの2つまでにおいて1塩基(a base)が変更されたそのホモログを具備する二本鎖オリゴリボヌクレオチドである使用。

【請求項6】

請求項4に記載の使用であって、前記siRNAは、1鎖が5'から3'に配列番号25~45に記載された配列を有している連続的なヌクレオチド又は各端領域で前記ヌクレオチドの2つま

において1塩基 (a base) が変更されたそのホモログを具備する二本鎖オリゴヌクレオチドである使用。

【請求項7】

配列が配列番号46～66に記載される連続的なヌクレオチドを具備するオリゴヌクレオチド。

【請求項8】

配列が配列番号3～45に記載される連続的なヌクレオチドを具備するオリゴヌクレオチド。